

「バイオ後続品 生産を」 亀田総合病院・舟越部長

2024年1月23日 渡邊尚

抗体 ジェネリック



亀田総合病院（千葉県鴨川市）薬剤管理部の舟越亮寛部長は日本バイオシミラー協議会がこのほど開催した講演会で「限界はあると思うが、バイオ医薬品の後発薬でにあたるバイオシミラー（BS）を国内生産でしっかりと国民に供給していただきたいというのが現場からの願い」と訴えた。

舟越部長は、医薬品の供給不安が続いている問題に触れ、「国策としてもBSの国内生産を促進していこうという話になっているが、今上市されているBSで、国内で生産されている製品はほとんどない」と強調した。

第一三共が2018年に上市し、外資系企業である米アムジェンが生産を担っている抗がん剤のBS「トラスツマブBS」（先発品名・ハーセプチン）について、同製品が今年1月に販売中止を発表したことを一例として取り上げ、「現場でジェネリック医薬品（後発薬）と同じようなことが起きている」と説明。そのうえで、私見としながらも「国内生産を目指していただきたい」と述べた。